

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立伊勢原中学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴を理解できたり、文脈に即して漢字を正しく書いたりすることができる。 ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の興味、関心などを考慮した表現の工夫や、話の展開に注意して聞くこと。 ・事象や行為、心情を表す語句について理解したり、表現の技法について理解したりすること。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解すること。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な連立方程式を解くことができ、証明の根拠となる三角形の合同条件を理解することができる。 ・無解答率が低く、最後まで問題を解こうとする姿勢がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データの傾向を的確に捉え、数学的表現を用いて説明すること。 ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーや生命を柱とする領域においては、実験結果などを分析して、実験を検討したり、結果の意味を考えたりすることができる。 ・理科全般において、問われている内容を解釈し、それを文章で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球を柱とする領域において、既存の知識や技能を活用したり、データを日常生活と関連付けて解釈したりすること。 ・粒子やエネルギーを柱とする領域において、目に見えないものをモデルで表したり、それを活用したり、説明したりすること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が定着している。 ・家庭学習の時間を確保している生徒が多い。 ・PC・タブレットなどのICT機器を使った授業への取り組みが意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習において、自分で計画を立てて勉強すること。 ・失敗を恐れずに挑戦することに、消極的な生徒が多いこと。 ・新聞を読まない生徒、地域や社会の出来事に関心が低い生徒が多いこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチやディスカッション、話し合い活動を通して、聞き手にとって分かりやすい表現や展開になるよう工夫したり、注意深く聞けたりするようにしていく。 ・物語文を読む活動を通して、情景描写・行動描写・心情描写を分けて読み取り、それらの表現や技法について具体的に理解できるようにしていく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学的な表現を用いて説明することができるように、各領域で基礎・基本の知識の定着を図るようにしていく。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の科学的事象に関心をもてるようにし、学習内容とのつながりを授業の中で共有し、理解したり、説明したりする活動を充実させていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は定着し、将来の夢や目標をもっています。学習に対する意欲も見られます。引き続きご指導をお願いします。 ・失敗を恐れずに挑戦することが難しいと感じている生徒がいます。家庭での声かけや、生徒が自信をもてるよう、励ましをお願いします。 ・コロナ禍で地域や保護者の方が来校する機会が少なくなっていますが、子どもたちを暖かく見守っていただければと思います。今後ご理解、ご協力をお願いします。
